



SSH だより

Super Science High School

小石川フィロソフィー発表会

小石川フィロソフィーⅢ発表会

3月17日(火)2、3時間目に小石川フィロソフィーⅢ発表会を行いました。これは、3年生がこの1年間をかけて、小石川フィロソフィーⅢの時間を中心として取り組んできた課題研究の成果を発表する会です。3年生は、今年度は9つのRL-Roomに分かれて、研究を行いました。当日は、1・2年生も発表に参加し、3年次に行う小石川フィロソフィーⅢの課題研究について、イメージをもつことができましたようです。今回の発表会を受けて、1・2年生は、3年生で行う課題研究に活かしてほしいと思います。また、3年生は、後期課程での学びに活かし、さらに研究を深めて下さい。



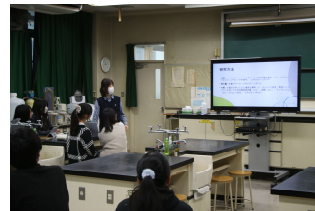
小石川フィロソフィーⅣ発表会

3月17日(火)2・3時間目「小石川フィロソフィーⅢ発表会」と同じ時間帯に、4年生と5年生は小石川フィロソフィーⅣ発表会を行いました。4年生の理数探究基礎では、簡単な探究活動を通して、データのとり方や数値の処理方法、表やグラフへのまとめ方、ポスターの作り方等を学びました。今回の発表会では、4年生全員がポスター発表に挑戦しました。参加者には5年生も加わり、積極的に議論している様子が見られました。発表会の最後には、5年生から「小石川フィロソフィーⅤ」で行った課題研究の紹介も行いました。4年生は今回の学習成果を生かし、来年度の課題探究を行います。



小石川フィロソフィーV発表会

2月25日(水)の3・4時間目(通常の小石川フィロソフィーVの授業の時間)に小石川フィロソフィーV発表会を行いました。これは、5年生全員がこの1年間に行ってきた課題研究の成果を発表するものです。発表活動などの成果の発信については次年度の小石川フィロソフィーVIで行うので、発表対象も5年生だけで、各RL-Roomに分かれての小規模なものですが、この発表会を通して各自がこの1年間の成果をまとめることができたと思います。発表形式も各Roomによってさまざまでした。



Adv.小石川フィロソフィー発表会

2月15日(日)に、「Adv.小石川フィロソフィー発表会」が開催されました。この発表会は科学系部活動に所属する生徒が中心となり運営を行う、生徒主体の発表会です。

科学系部活動や小石川フィロソフィーの課題研究について60を超えるポスター発表があり、都立三鷹中等教育学校、都立富士高等学校・附属中学校、都立青井高等学校からも発表がありました。

また、宮城県古川黎明中学校・高等学校、栃木県立大田原高等学校、文京学院大学女子中学校・高等学校、東洋大学京北中学校・高等学校、愛知県立時習館高等学校、青翔開智中学校・高等学校の先生方も発表会にご参加いただきました。

運営指導委員の先生方や、本校卒業生が指導・助言者として参加し、100名を超える参加者による活発な研究交流が繰り広げられました。

ポスター発表後は交流会としてグループで周期表を並べるゲームを行い、交流を深めることができました。



実行委員長より

参加して下さった皆様、ありがとうございます。当日は100人を超える方々にお越しいただき、特に今年度は全国各地から先生方にも集まっていたいただき、より活発な発表会となりました。自分の研究と近い分野の研究はもちろん、全く関わったことのない分野の研究にも出会えるのも、この会ならではの楽しみです。研究発表は自分の考えを他人に伝えるいい機会です。自分の研究をアピールするほど、たくさんのアドバイスをもらうことができます。「質問攻めされた…怖い…」とネガティブにとらえず、むしろ自分の研究を深めるチャンスだと前向きにとらえていただけたら嬉しいです。ここからは個人的な話になりますが、実行委員会ではこの日のために短い期間ながらも準備を重ねてきました。交流会の企画を話し合ったり、パンフレットを作ったり、会場設営をしたり。やることがたくさんある中でもみんなで協力してこの会を成功させることができました。ご協力くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。来年度も開催を予定していますので、ぜひ参加していただければ嬉しいです。

小石川生の活躍

ロケット甲子園

2月7日、8日に福島県南相馬市で行われた「宇宙甲子園2025ロケット部門全国大会」に、物理研究会ロケット班のチーム「ShoyaX」9名が出場しました。優勝をして2年連続世界大会出場を目標に臨んだ大会でしたが、結果は惜しくも準優勝でした。世界大会出場校ということもあり、大会参加校で行われる技術交流会では、たくさんの質問を受けるなど、大変充実した2日間でした。応援ありがとうございました。今後の活動にもご声援よろしくお祈りします。



科学の甲子園

中学生科学コンテストで総合優勝した2年生チームは、12月に、兵庫県で行われた「科学の甲子園ジュニア」に東京都代表として参加しました。筆記競技では第2位となり、内田洋行賞を受賞しました。

「第15回科学の甲子園東京都大会」に、5年生6名が出場しました。惜しくも今年度は全国大会出場は叶わなかったものの、筆記競技で化学部門1位、数学部門1位、情報部門1位の成績を収めました。



都立高校 TIPS フォーラム 2025

12月26日に開催された全都立高校が参加するイベントで、本校は代表校発表に選ばれ、物理研究会ロケット班の5年生がこれまでの成果を発表しました。

大きなステージ上での発表で緊張感がありましたが、これまでの歩みと研究の成果を堂々と発表することができました。また、QuizKnockの伊沢拓司さんとの質疑応答も行い、しっかりと自分たちの考えを答えられていました。本校は、代表校発表のほか、ポスターセッションでもいくつかのポスター発表を行いました。



ミネルバ大学との交流

1月にミネルバ大学の学生が小石川を訪問し、本校の4、5年生と交流会をしました。ミネルバ大学はメインのキャンパスを有さないとてもユニークな教育を行っており、学生たちの国籍も様々です。今回は小石川生のそれぞれが、各自研究の発表を持ち寄り、ミネルバ大学の学生にプレゼンを行い、その後その発表についてディスカッションを行うという形で行いました。大学生の前で自身の研究テーマを扱った発表を行い、その研究について質問を受ける経験はとても貴重であり、大学生の着眼点を知る貴重な経験となりました。もちろんこの交流会は全て英語で行われ、英語で様々な国の学生と意見を交わす貴重な時間にもなりました。

東京都内 SSH 指定校発表会

12月21日(日)に、工学院大学で行われた東京都内 SSH 指定校発表会に参加しました。本校からは口頭発表3件、ポスター発表89件を発表しました。日頃から取り組んでいる課題研究「小石川フィロソフィー」や、今年度より実施したワシントン大学における研修報告などを発表しました。SSH事業の成果を還元するとともに、他校の生徒と交流し、視野を広げることができました。

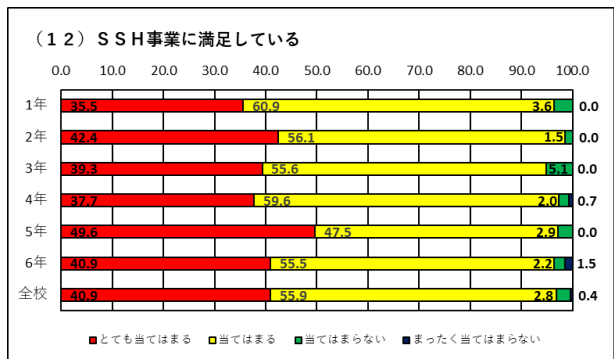
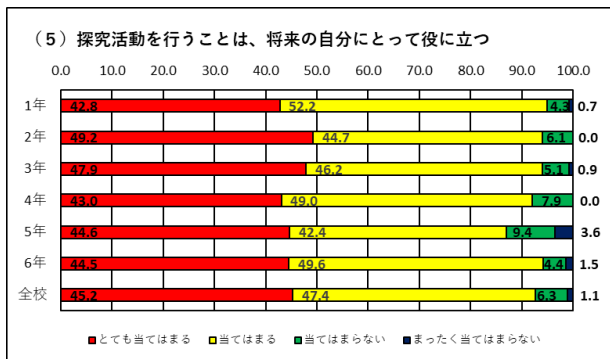
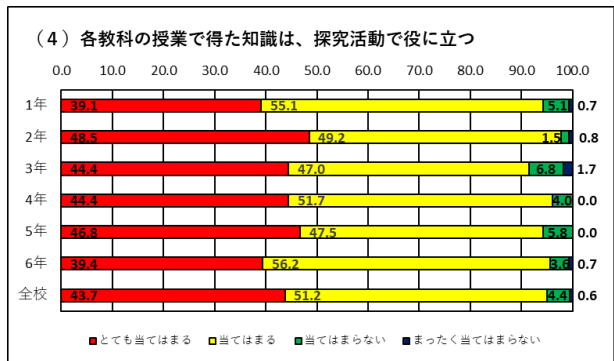
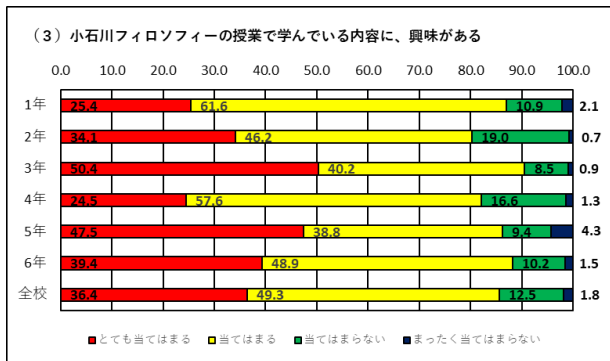


生物フィールドワーク「伊豆沼の野鳥生態観察調査」

12月26日、27日に宮城県栗原市・登米市にあるラムサール条約登録湿地の伊豆沼にて、冬期の野鳥生態観察を行いました。初日に伊豆沼農産の方より、伊豆沼の成り立ちおよび地域農業とマガンの越冬の関係について講演いただき、日入りにて冬鳥の「罅入り」を観察しました。翌朝は日の出時間に「一斉飛び立ち」定点観測実施後、各サングチュアリーセンターにて冬鳥観察を行いました。【参加した生徒の感想】「初めてあのような規模でマガンを見ましたが、とても圧倒されました。あの規模は東京ではとても見られないのでとても感動しました。」



SSH アンケートの結果から



小石川フィロソフィーで取り組んだ課題研究をまとめた論文は、4階SSHコーナー（5年C組教室の前）で自由に閲覧できます。また、令和3年度以降の6年生が取り組んだ小石川フィロソフィーⅥの論文集は電子データ化されています。本校生徒は、右のQRコードからアクセスできます。アクセスには、Teamsのアカウントが必要です。



SSHだより 第39号

令和8年3月 発行

東京都立小石川中等教育学校

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-29

電話(03)3946-7171 <https://www.metro.ed.jp/koishikawa-s/>